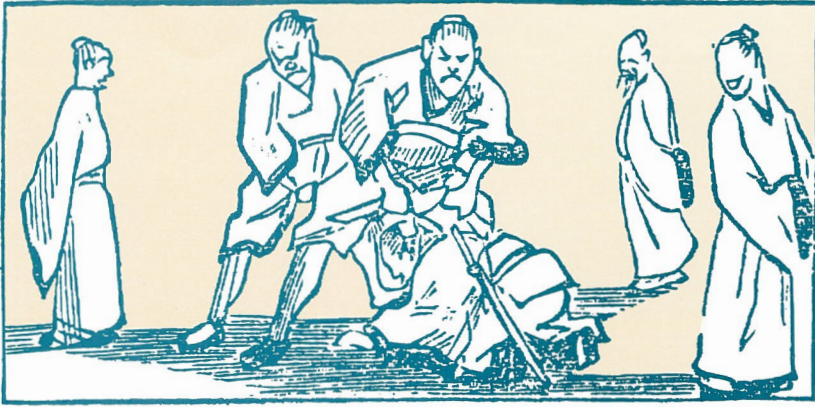


Naranu Kannin suru ga Kannin.



Kansin no Mata-kuguri.

Yudan Taiteki.



Kinobori no Meizin ga  
atta. Hito ni iitukete, takai  
Ki ni nobotte Eda wo kira-  
seta ga, takai uti wa nanto-  
mo iwazu, orite kite Ie no  
Noki gurai ni natta toki,  
hazimete Koe wo kakete,  
“Ki wo tukete orina!” to  
iuta.

“Imasara dô-site sô iu  
no ka?” to kikuto, “Sono  
Koto desu; Memai no suru  
yôna takai Tokoro dewa  
dare mo Ki wo tukemasu.

Uso wo tukeba Enma ni Sita wo  
nukareru.



# ことわざ資料叢書

全第  
10二  
卷輯

庶民生活のあらゆるものにかかわる知識・哲学の宝庫。  
北村 孝一 監修／ことわざ研究会 編・解説／クレス出版 発行

- 第1巻 柴垣馥編『知識宝庫 金諺一萬集』(明治24年、青木高山堂)  
 第2巻 花房柳條編『文学淵源 故諺辞典』(明治27年、青木高山堂)  
 第3巻 土肥助郎編『金言萬集』(明治20年、土肥助郎)  
 三田村熊之介編『格言俚諺 一言萬金』(明治26年、山口恒七)  
 住田史郎編『農工商処世家事 金言俚諺集』(明治27年、岡島宝文館)  
 第4巻 コトワザ(尋常小学読本)ほか  
 国定国語教科書第2期より「コトワザ」、同指導書など。  
 島山健選輯『作文新辞林』の「俚諺」(明治38年、郁文舎・積文社)  
 芳賀矢一・田丸卓郎・田中館愛橋編『Kotowaza-dukusi』  
 (明治43年、日本のローマ字社)  
 大田才次郎編『新式いろは引節用辞典』付録「俚諺」(明治38年、博文館)  
 成蹊社編輯局編『実用 故事俚諺俗語新辞典』の「俚諺門」(大正元年、成蹊社)  
 第5巻 伊藤長七編『格言警句集』(昭和3年、誠文堂)  
 第6巻 各地俚諺集一  
 内田邦彦編『津軽口碑集』の俚諺の部(昭和4年、郷土研究社)  
 「俚諺調査報告書 富山県」(明治39年、稲田浩二編『富山県明治期口承文芸資料集成』の「俚諺」関係)  
 福岡県教育会本部編『福岡県内方言集』(明治32年)  
 「北海道俚諺 天気予考」(明治22年、北海道庁)  
 「尾三氣象俚諺」(明治34年、愛知県名古屋測候所)  
 篠田定吉「氣象に関する俗信俚諺」(昭和11年)  
 第7巻 各地俚諺集二  
 日本弘道会事務所「各地俚諺集」(明治31、32年)  
 飯盛紀伊智「奥州和賀郡俚諺」(昭和17年)  
 高木誠一「石城俚諺集」(昭和16、17年)  
 鈴木重光「俚諺」(大正13年)  
 南 栄三「能登七尾町附近の俚諺」(昭和10年)  
 笠松彬雄「俚諺めいた言葉」(昭和2年)  
 桂井和雄「土佐俚諺拾遺」(昭和18、19年)  
 八木三二「阿蘇俚諺集」(昭和8年)  
 古市春彦「種子島のターキ」(昭和17年)  
 岩崎卓爾「琉球八重山俚諺集」(明治44年) ほか  
 第8巻 大野雲潭編『泰西格言 第一集』(明治16年、中西範)  
 勝俣銓吉郎編『俚諺金言集』(明治35年、ABC出版)  
 レオナルド編『中等教科 英文典』(明治40年、大日本図書)  
 斎藤秀三郎編『Common Sayings for Recitation』(明治45年、日英社)  
 服部宇之吉編『格言大辞典』西洋の部(大正5年、目黒書店)  
 第9巻 崔瑗植編『朝鮮俚諺』(大正2年、新文館)  
 朝鮮の諺(藤井乙男『諺の研究』昭和4年付録より)  
 第10巻 田島泰平編『歌後語』(『現代実用支那語講座XII 俗諺篇』昭和16年、文求堂書店)  
 馬場春吉「支那の俚諺に就て」(大正11年)  
 陳 紹馨「俚諺に関する覚書」(昭和17年)  
 神田喜一郎「支那俚諺の研究について」(昭和17年)  
 廖 漢臣「台南の俚諺」(昭和17年)

Ennosita no Tikaramoti.



今回の内容は、格言と関わりのある明治期の俚諺集を中心とするが、国語教育のなかのことわざを歴史的にたどる第4巻、地方誌のことわざ関係資料を集めた第6巻、第7巻は画期的なものといえよう。

そのほか、英語の格言を漢文との対訳にした『泰西格言』(明16)、初期のローマ字運動による『Kotowazadukusi』、斎藤秀三郎が編集した暗誦用の英語「ことわざ集」"Common Sayings for Recitation"は、これまで知られていなかったものである。ハンガルの歴史的文獻『朝鮮俚諺』が収録できたことも大きな成果の一つであり、今後のインタナショナルな研究の発展に寄与することと思う。

今回の内容は、格言と関わりのある明治期の俚諺集を中心とするが、国語教育のなかのことわざを歴史的にたどる第4巻、地方誌のことわざ関係資料を集めた第6巻、第7巻は画期的なものといえよう。

そのほか、英語の格言を漢文との対訳にした『泰西格言』(明16)、初期のローマ字運動による『Kotowazadukusi』、斎藤秀三郎が編集した暗誦用の英語「ことわざ集」"Common Sayings for Recitation"は、これまで知られていなかったものである。ハンガルの歴史的文獻『朝鮮俚諺』が収録できたことも大きな成果の一つであり、今後のインタナショナルな研究の発展に寄与することと思う。

刊行にあたって

ことわざ研究会

北村孝一

日本のことわざ研究は、一九八〇年代後半に本格的に始まったといつてよいだろう。もちろん、それ以前にもさまざまな研究がなされてはいたが、研究者相互の交流はほとんどなく、基本的に個人的な営為にとどまっていた。

八〇年代後半からの新たなことわざ研究の潮流は、民俗学や文化人類学ばかりでなく、言語学や文学、歴史学、社会学、心理学、図像学など、さまざまな分野の研究者が参加し、旧来のアカデミズムを乗り越えようとする点が大きな特色となった。さらに九〇年代半ばからは国際交流も盛んになり、文献による相互の影響だけでなく、日本の研究会に外国人が参加することが当たり前になってきた。そして、専門家がかりでなく、ことわざの主役である庶民とともに、文献の枠を超えて、ことわざを探究する活動は、「ことわざ学」という新たな学問を誕生させようとしているといつても過言ではない。

こうした新たな地平での研究が実り多いものとなるには、その基盤として、ことわざ関連資料の収集と公開が第一に必要であろう。ことわざ研究会では、早くからその必要性を認め、資料の収集に努め、すでにその一部を編集し、公刊してきた。しかし、種々の事情から収録できなかったものや、近年の研究によって発見された重要資料もかなりの量にのぼっている。

そこで、昨年、クレス出版の協力を得て、新たに発見されたものを中心にジャンルを問わず重要な資料を収録して、『ことわざ資料叢書』を公刊した。幸いなことに、きわめて地味な資料集であるにもかかわらず読者の支持を得られたので、ここにその続編を刊行する運びとなったものである。

第7巻 種子島のターキ

た。事項別の整理も甚だ不十分であるから、あまり分類に拘泥せずに解釋せられたい。

○ イシヤドン(醫者殿)の朝飯。酒匂殿の正月。(時外れ) 醫者と坊主はたゞんがよか。  
 藥九層倍、魚三層倍、百姓百層倍。

○ イシヤドン カヂトン(鍛冶を貴職として) やはらしかもものも百度噛め(或は、二十七度) ンマイもの食て後大事。

○ ダゴ(團子) 食て食傷。残りもので食傷。 焼酎も噛うで飲め。

○ インのメー、ゼン(犬の眼に錢) ネケー、コバン。 ワルインに駆けば敷原あへーじル(入る) インのハも蛋當る。

○ ゼンクオー(臆病) インの遠鳴き。鳴くインは噛みつかん 鳥には吠えるといふ言葉がない。

種子島のターキ(古市)

第8巻 Common Sayings for Recitation



36. When the fox preaches, take care of the geese.

37. At last the fox turns monk.

38. No fox is caught twice in the same trap.

39. He is as cunning as a fox.

40. Let every fox take care of his own brush.

云ふと云はんは一と力。 馬の耳にも西の風。

○ 暖い南風に慣れた島民は西風を特に寒がる。 話半分。

○ に聞け、云へ、両方に使ひ、云への場合には民謡「野邊の火事さへ燃え残す」を添へる。 見れば眼の毒、聞けば氣の毒 云へば云ひかぶる。 話は根から木は裏から(割れ) 話は人別。

○ シン(鹿) 皮魚身。 梨は食み糞、ものは云ひやう。

○ 言葉と川の事は盡くせん。 口はヨコシイでもモノはマツト(眞當)に云へ。 山芋も変なしちや堀れん。

○ 酒亂を「ヤマイモをホル」といふ。 酔人の周囲の者を戒む。

# ことわざ資料叢書 第二輯 全10巻

北村 孝一 監修 ことわざ研究会 編・解説

- 第1巻 知識宝庫 金諺一萬集
- 第2巻 文学淵源 故諺辞典
- 第3巻 金言萬集、格言俚諺 一言萬金 ほか
- 第4巻 コトワザ（尋常小学読本）ほか
- 第5巻 格言警句集
- 第6巻 各地俚諺集一
- 第7巻 各地俚諺集二
- 第8巻 泰西格言、Common Sayings for Recitation ほか
- 第9巻 朝鮮俚諺 ほか
- 第10巻 歇後語、台南の俚諺 ほか

A 5判／上製函入／クロス装／本文クリーム中性紙

揃定価84,000円(税別) ISBN4-87733-196-4(セット) 平成15年10月末日刊

# ことわざ資料叢書 全12巻

北村 孝一 監修 ことわざ研究会 編・解説

庶民生活のあらゆるものにかかわる知識・哲学の宝庫。民俗学や文化人類学にとどまらず、言語や文学、歴史学、社会学、心理学、気象学など、きわめて広範な分野の貴重資料。ISBN4-87733-137-9(セット) 揃定価80,000円(税別)

- |                                    |                           |
|------------------------------------|---------------------------|
| 第1巻 言彦鈔、日本の諺、いろは短句 ほか              | 第7巻 いろは短歌 お伽噺             |
| 第2巻 国民の品位 全 一名諺の一口話<br>品性修養 金言俚諺釈義 | 第8巻 農業に関する金言俚諺集<br>総合郷土研究 |
| 第3巻 格言俚諺辞典                         | 第9巻 琉球俗語、沖縄俚諺集 ほか         |
| 第4巻 和漢泰西 金言と俚諺                     | 第10巻 外国人の集めた日本のことわざ       |
| 第5巻 故事俚諺辞典                         | 第11巻 朝鮮の俚諺集 附物語           |
| 第6巻 傾城諺種、神事画譜 ほか                   | 第12巻 日臺俚諺詳解               |

# 地名研究資料集 全五巻

池田 末則・鏡味 明克・江端真樹子 編集・解説

- |              |               |                   |
|--------------|---------------|-------------------|
| 第一巻 日本       | 定価20,000円(税別) | ISBN4-87733-184-0 |
| 第二巻 大和国 一    | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-185-9 |
| 第三巻 大和国 二    | 定価14,000円(税別) | ISBN4-87733-186-7 |
| 第四巻 大和名所図会ほか | 定価21,000円(税別) | ISBN4-87733-187-5 |
| 第五巻 万葉集      | 定価22,000円(税別) | ISBN4-87733-188-3 |

揃定価90,000円(税別) ISBN4-87733-183-2(セット) C3325



株式  
会社

クレス出版

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋  
☎03(3808)1821 ㊚03(3808)1822 <http://www.kress-jp.com/>